

研究発表会—発表募集

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、
本誌に掲載された討論会に関する情報は、
下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

2026 年度 有機合成化学北陸セミナー

主 催 有機合成化学協会関西支部

共 催 日本化学会近畿支部

会 期 9月24日(木)、25日(金)

開催方式 対面式

会 場 石川県青少年総合研修センター (金沢市常盤町 212-1) [アクセス] <https://www.ishikawa-seisoken.jp/newkoutuunnai.html>

発表申込締切 8月4日(火)

予稿原稿締切 8月30日(日)

参加登録予約申込締切 8月4日(火)

発表形式 口頭発表(討論を含めて1講演12分) または、ポスター発表

特別講演 安田 誠(阪大院工)、森本 積(奈良先端大)

発表申込方法 E-mail

予稿原稿 下記 HP のテンプレートをご利用下さい。

参加登録費 企業 20,000 円、大学・官公庁 18,000 円、学生 10,000 円(要旨集代、宿泊費、朝夕食費を含む)

懇親会 夕食懇親会を開催

参加登録予約申込方法 「有機合成化学北陸セミナー」参加申込と題記し、1) 氏名(男女の別)、2) 所属、3) 職名または学年、4) 申込者氏名、5) 連絡先(郵便番号・住所・電話番号・E-mail) を明記の上、E-mail にて下記申込先へお送り下さい。参加費は、E-mail 申込と同時に郵便振替(口座番号: 00760-3-9988、口座名称: 有機合成化学北陸セミナー) にて、なるべく研究室単位でお振込み下さい。振替用紙の通信欄には、所属、研究室名、代表者、送金内容を記入して下さい。

申込先・問合先 920-1192 金沢市角間町金沢大学理工研究域物質化学系化学コース(有機合成化学北陸セミナー実行委員会) 添田貴宏 電話(076)264-5732 E-mail: soeta@se.kanazawa-u.ac.jp <http://www.soc-kansai.org/event/2026/2026hokuriku.html>

第 59 回酸化反応討論会

主 催 第 59 回酸化反応討論会実行委員会

後 援 日本化学会

会 期 11月14日(土)、15日(日)

開催方式 対面式

会 場 長崎県立大学シーボルト校(長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1) [アクセス] <https://sites.google.com/view/sanka59/会場>

発表申込締切 8月21日(金)

参加登録予約申込締切 10月16日(金)

討論主題 酸化還元反応全般に関する基礎から応用、合成、物性、機能、反応機構、生理学的意義など

発表形式 口頭発表・ポスター発表

招待講演 北岸宏亮(同志社大)、大山順也(熊本大)

発表申込方法 Web

参加登録費 一般 6,000 円、学生 3,000 円

懇親会 11月14日(土)、学生会館食堂にて。

参加登録予約申込方法 下記 HP をご確認ください。

申込先・問合先 851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1 長崎県立大学 看護栄養学部 第 59 回酸化反応討論会実行委員会 倉橋拓也 電話(095)813-5195 FAX(095)813-5220 E-mail: kurahashi@sun.ac.jp <https://sites.google.com/view/sanka59>

2026 年日本化学会 中国四国支部大会 鳥取大会

主 催 日本化学会中国四国支部

共 催 日本化学会

会 期 11月22日(日)、23日(月)

開催方式 対面式

会 場 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町 101-5) [交通] 〈徒歩〉JR「鳥取」駅から若桜街道を県庁方向へ徒歩約 20 分、〈循環バス「くる梨」〉停留所名:「とりぎん文化会館」下車すぐ、〈路線バス〉停留所名:「県庁日赤前」下車すぐ

発表申込締切 9月11日(金)

参加登録予約申込締切 10月23日(金) [早期割引締め切り]

中国四国支部の化学研究・教育の活性化を目的として、学生の教育・若手育成のための研究発表会、産学官の研究者間の交流の場を提供します。研究発表分野は化学全般とし、一般口頭発表、ポスター発表のほか日本化学会副会長特別講演、若手セッションを実施します。また、2025 年ノーベル化学賞を受賞された京都大学北川進先生をお招きした特別講演も併催します。

発表申込方法 Web

参加登録費 一般(共催・協賛学会会員): 早期 4,000 円、通常 5,000 円、一般非会員: 早期 6,000 円、通常 7,000 円、学生: 早期 1,000 円、通常 2,000 円

懇親会 11月22日(日)、アートプレイスすなば珈琲(会場隣接)にて。会費 7,000 円

参加登録予約申込方法 下記大会 HP から

申込先・問合先 2026 年日本化学会中国四国支部大会 鳥取大会事務局 E-mail: csjcs2026office@ml.chembio.tottori-u.ac.jp <https://pub.conf.itatlas.jp/ja/event/csjs2026>

第 42 回塗料・塗装研究発表会

主 催 日本塗装技術協会

協 賛 日本化学会

会 期 2月26日(金)

開催方式 対面式

会 場 東京大学生産技術研究所コンベンションホール(目黒区駒場 4-6-1) [交通] 京王井の頭線「駒場東大前」駅徒歩 8 分

発表申込締切 11月4日(水)

予稿原稿締切 1月8日(金)

参加登録予約申込締切 2月19日(金)

討論主題 「塗料」「高分子材料(樹脂)」「顔料」「添加剤」「表面処理」「レオロジー」「意匠」「塗装技術」「塗膜評価技術」「塗装機」「塗装システム」「シミュレーション」「その他」

発表形式 口頭発表(一般枠: 発表時間 15 分、質疑応答 5 分、学生枠: 発表時間 7 分、質疑応答 3 分)

本発表会は年に一度、塗料・塗装分野のすべてを網羅する国内唯一のフォーラムとして開催されます。発表者と参加者での活発な議論が毎回行われ、研究位置づけの明確化と今後の指針創出が期待されます。学生向けの短時間発表枠もございます。優秀な発表に対しては研究発表優秀賞を授与しますので、皆様の日頃の努力が結実するチャンスでもあります。

発表申込方法 E-mail

参加登録費 会員 9,500 円、35 歳以下会員 7,000 円、研究室学生会員 1,100 円、非会員 12,000 円。※日本化学会会員は当会会員価格でお申し込みいただけます。

懇親会 発表会場横ホワイエにて。会費無料

参加登録予約申込方法 下記 HP よりお申し込み下さい。

申込先・問合先 162-0805 新宿区矢来町 3 日本塗装技術協会 電話(03)6228-1711 E-mail: tosou-jimukyoku@jcot.or.jp <https://jcot.or.jp/>

“講演会・講習会”欄／“研究発表会—発表募集”欄への投稿について

①掲載対象

- ①“講演会・講習会”欄，“発表募集”欄に掲載する行事は、日本化学会の本部、支部、部会、研究会が、主催、共催、協賛、後援するものに限り、
- ②掲載は、当会の主催を除き、事前に共催・協賛・後援依頼申請後、許諾認可番号を受けたものが対象となります。許諾認可番号のない行事の原稿は掲載できませんのでご注意ください。
- ③「化学と工業」誌“行事一覧”は、日本化学会ホームページ・イベントカレンダーに掲載されます。

②掲載欄

- ①掲載は、“講演会・講習会”欄または“発表募集”欄のどちらか1回に限り、両方への掲載はできません。
- ②“講演会・講習会”欄に掲載する内容は、“主催者側からの依頼による講演などが中心の行事”の参加募集です。
- ③“発表募集”欄に掲載する内容は“一般応募による講演などが中心の行事”の発表募集です。

③参加登録費

原則として日本化学会個人会員が主催者の会員と同等の条件（参加費用）で参加できることが化工誌への掲載条件です。参加費の設定が複数ある場合には、別に本会会員の参加費を明記して下さい。
例：○○学会会員 10,000 円、日本化学会会員 10,000 円、共催団体 15,000 円、非会員 20,000 円

④原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ②通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

⑤原稿作成と投稿方法

- ①原稿は専用投稿フォーマットを使用して作成して下さい。
- ②制限字数は 900 字です。900 字以内であれば掲載料は無料ですが、超過した場合には超過分 900 字につき 17,000 円の有料掲載となります。
- ③専用フォーマット使用方法
 - A) フォーマットに記載されている項目以外に項目が必要な場合は、「記事内容」欄の中で表記して下さい。
 - B) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - C) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；ｱｶﾌｻ, 記号（約物）；.,。[(/ 等
- ・ローマ数字；ⅠⅡⅢⅣ, 丸数字；①②③④
- ※アルファベットの I, V, X, Y を組み合わせてローマ数字を表現。
- ※文字の代わりに (1) (2) の表記を使用。
- ※組文字は全角（株）（有）mm での表記にする。
- D) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。
- E) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML 形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P < \text{SUP} > 2 < / \text{SUP} >$

・下付； $\text{CO}_2 \rightarrow \text{CO} < \text{SUB} > 2 < / \text{SUB} >$

・イタリック；*italic* < I > italic < / I >

- ④原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後、送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。
- ⑤投稿完了後、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。
- ⑥投稿原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑥送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ①原稿締切（当月 25）日まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mail にて三美印刷宛の旨をご通知下さい。
- ②原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑦問合先

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話 (03) 6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp

【投稿・請求に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

日本化学会 共催・協賛・後援を希望される場合の手続きについて

本会の共催・協賛・後援を希望される場合には、本会ホームページ（www.chemistry.or.jp/application/sponsorship/index.html）より申請をお願いしております。審査の後、諾否のお知らせを E-mail にてお送りいたします。

なお許諾の後、本誌“講演会・講習会”、“研究発表募集”、“研究発表プログラム”欄への掲載を希望される場合は、それぞれの掲載要項

をご参照のうえ、本会ホームページよりご投稿下さい。

問合先 日本化学会 総務部「共催・協賛・後援」係
101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
電話 (03) 3292-6162 FAX (03) 3292-6318
E-mail: info@chemistry.or.jp